

# 静岡のサッカー少年が世界に触れる一歩



協会の理事長も期待

静大の外国人留学生と、静岡市内のサッカー少年の交流事業が始まった。

静大の国際連携推進機構で、案野香子教授に学ぶ学生と、静岡サッカ

カー協会 6カ国10人が子供40人と交流

の園児〜小学校低学年が、サッカーなどを通して、触れ合う取り組み。このほど第1回が、静岡市の静大人工芝グラウンドで開かれ、6カ国約10人の留学生と、約40人の子供

が参加し、ミニゲームなどを楽しんだ。

「外国の人とサッカーをしたのは初めて。楽しかったです」と竹中晴さんは笑顔。赤坂琉之介さん、石内燈人さんらも貴重な経験を喜んだ。

留学生にとっては静岡、日本の文化を知る絶好の機会。「子供が好きですし、楽しかったです」とスリランカ出身のヴィンニさんが声を弾ませ、チェコ出身のデイビッド

が参加し、ミニゲームなどを楽しんだ。

さん、ブラジル出身のマテウスさんらも積極的にコミュニケーションを取っていた。

静岡サッカー協会の鳥羽俊秀理事長は「子供たちがサッカーを楽しみ、グローバルな感覚を身につける一歩になってくれれば」と期待を高めた。

原則、隔月の第3日曜日の午前10時〜正午に行っていく予定です。次回は7月16日。参加無料。



静岡のグラウンドで交流した海外からの留学生と静岡市内のサッカー少年。ミニゲームも盛況だった。留学生がGKを務めてPK



◇静岡サッカー協会国際交流事業問い合わせメールアドレス sfa-chubu@yr.tnc.ne.jp

担当・静岡サッカー協会・山崎剛士キッズ委員長